


2018年10月14日の報告

原発いらん・山口ネットウラ



ワ370号

次の集り

2018年11月11日(日) 14時

場所・周南市総合庁舎2F
ふれあいルーム

わかりにくい山口県の控訴理由書。

7月11日、山口地裁の福井美栄裁判長が、「村岡知事が埋立免許可否の判断を引く伸べたことは違法」との判決を出し、村岡知事はそれを不服として広島高裁に控訴。

その控訴理由書(1)、(2)が明らかになりました。

ところが、それ(43ページある)を読んでもわかりにくく、県の論理がつかめない。

これは素人には無理、弁護士さんの解説を待とうと思っていたら、内山弁護士にもわかりにくいとのこと。

とりあえず、控訴理由書2の「結論」の部分5行と、「住民訴訟の会NEWS」に内山新吾弁護士が書かれた文章を読んでみて下さい。↓P5

3・23県民大集会キックオフ集会


11・17 午前10時から2時

小郡ふれあいセンター1F

みなさん、各地から駆けつけて下さい。

一次チラシ、賛同用紙など、急ピッチで作っています。当日配ります。

事務局会議1回あり



11/10 反原発デー 県民集会

13:30~16:00 上関町総合文化センター

今中哲二さんの講演

「福島」の現状報告

今年、屋内での集りになりません。今中さんの話を聞きたい方は是非。

代表者 小中 進

F742-1513 山口県熊毛郡田布施町大字麻郷2208

Tel. Fax 0820-55-6291

振込口座(年会費2000円)

(郵)01590-5-27459

口座名 原発いらん!山口ネットウラ

作製・印刷 周防灘の自然を守る会

三浦 翠

辺野古を埋めるな!



ついに伊方原発3号機がまたもや稼働をはじめた。(囧)

2017年12月、広島高裁の野々上友之裁判長が阿蘇山が130kmのところにある、噴火したら伊方原発に重大な影響があるとして、2018年9月までの運転停止を求めた。

市民が、停止期間の延長を求めて広島地裁に裁判をおこしたが、10月26日午前中の裁判で、却下が決定。

その後、岩国であった伊方原発差止の裁判(本訴2回)の傍聴者からは溜息が...

広島地裁の藤沢孝考裁判長は「社会通念上、巨大噴火の可能性は低く、その危険を考慮しなくはい」と言うが、「南海トラフ地震」は、社会通念の上、明日起きるかも知れないし、裁判官には原発をとめる力があるのに...

伊方原発再稼働差止の仮処分を求めた裁判は、愛媛、大分、広島、山口の4県で起こされたが、残るのは高松高裁の決定(日時未定)と、山口地裁岩国支部の決定(2018年以内)の2つ。

住民の立場に立った判断を一日も早く出してもらいたいものだ。

高松市で伊方原発再稼働に抗議の申し入れ集会、テーマ ↓ P9

「放射線のホント」の文部科学省版

最新「放射線副読本」

2018年2月に文科省は新版「放射線副読本」を発表し、4月から全国の小中高に送り届けられている。

「原発再稼働を前提とした内容で、事故が起きたら冷静に避難しよう」とか書いている。

一方で、事故から7年たっても、数万人の人が避難生活を強いられていること、内部ヒバクの恐れ...

イベント情報

11月10日(土) 13:30~16:00	原発テロ県民集会 講演「福島の実況報告 今中哲二さんの話 (京大原子炉実験所)	上向町総合文化 センター (道の駅のとまり)	
11月11日(日) 14:00~17:00	原発いん山ネットワ-ク例会	周南市総合庁舎 2F会議室	0820-55-6291 小中
11月11日(日)	映画・沖縄スリイ戦史 ①10:30②13:30③18:00~ ④終了後カンパワ-クあり	山口県教育会館 当日1500.終了約200	西京シネマ 083-928-2688
11月17日(土) 10:00~12:00	3.23県民大集会 ギョクオウ集会	川郡子れあひセンター	080-6331-0960 (安藤)
11月17日(日) 15時~	中国五県連絡会議 総会,交流会	光かんほの宿	0820-55-6291 小中 082-922-4850 不原
11月17日(土) 14:00~16:00	憲法カフェ・コーディネーター 中村 覚 指針 「憲法とジャーナリズム」	PH CAFE 周南市PHビル 500円	⑧ 090-8990-3685 (池田)
11月19日(月)	安保法制反対 総行かり行動	各地2"	
11月21日(水) 11:40~	朝鮮学校に補助金 復活を! 強制収容	山口県庁赤い3(2)"	083-223-9355
11月23日(金・祝) 13:00~14:30	平和ホールと 萩市役所前 平和集会	萩市中央公園 集いの広場	"ピース・アズ27. 配備 計画の撤回を求め 国民の会 090-1338-1841(高口)
11月23日(金・祝)	権の中のライオン ~憲法ってなんだ?~ 棟 大樹 弁護士 はんどう たいき	宇部市総合福祉会館 4階大ホール 700円	安倍9条改憲No! 全国市民アクション 0836-21-8003 090-3747-2855
11月24日(土) 15:00~ 11月25日(日) 9:00~ 12:00 基地正門前	東アジアの平和を創る 2018岩国行動に集結!	岩国市福祉会館	アジア共同行動 岩国、防府、萩、文 流集会実行委 0774-43-8721
2019.1月19日	おしどりマコケン	光市	
2019.1月20日	おしどりマコケン	宇部市	

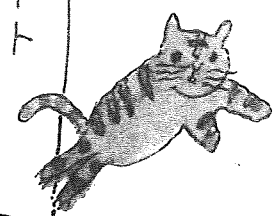
東京新聞 10/26日、電子版の記事です。
↓ P.6

おどにはふれていない。
はつきり言って、子供たちに原発を受け入れろ
と言っている内容。
世界の大部分が、原発から自然エネルギーに
シフトしている時に、次の世代にこのような片手
た教をやることは、日本の未来を奪うもの
と言っているだろう。
○新「放射線副読本」を改善し作り直す
ことを要求します。の署名用紙を同封し
ていきます。力をあわせよう。
(福島の)子ども帰還見合わせ要請。
国連人権理事会報告者「年間/ミリシーベルト
ト以下に」。
日本政府は、年間ヒバク線量が20ミリシーベルト
以下を福島への帰還の目安としているが、これは
事故前の原発内労働者の年間ヒバク線量限度
と同じである。
このような高線量地帯に避難住民への手当て
を打ち切った。管理責任人々を帰還させようとする
ことに世界中の非難が集中している。
日本政府は、また「嘘をつき、言い訳ばかり」。

その他原発をめぐる状況

- 太陽光発電・九電が抑制・再稼働の原発優先
10/14朝日
- 東海第2再稼働反対・茨城県那珂市長
同意対象初。10/23中口
- 原発推進派が上週で講演会(10/22中口)
- 東京・1H1、原発事業縮小・共同出資会社と
清算、再生エネソフト急ぐ。(10/19日経)
- 初経年齢に核爆の女性、乳がん高い発症率。
放射線調査(10/16中口)
- CT影響 10人差実証・広島大(10/10中口)
- 伊方原発事故想定し訓練(10/10中口)
- 核爆線量100ミリシーベルト以内は、事故発生一週
間、住民避難計画ど目安・原子力規制委(10/10中口)
- 国の原子力後始末先送り。廃止に70年、費用も1兆円
超。原発推進・無責任な露呈。

11月17日(土)
PM2:00~
会場 光市 豊積(伊保木コミュニティ
センター)
カンパ 1000円
08333-179-226(上西達生)



②

● 例会の報告(10月14日)

- 参加地域 田布施、光、下松、岡南、山口、宇部
- 現地のお様子。

9月20日、ピクニックをかねて平郡島へケーソンを見に、何人が行く予定にしていたが、あいにく雨になり、小中さんが入るまでズリーに車を横断して行ってみた。

ケーソンは想像以上にびつかくて、高さ10数メートルの巨大なコンクリートの壁相になぞいる。県道から15〜17基が見える。

置いてある所は海岸べりの地元企業の土地で、柵がしてあり、近づけない。管理人が何人が居る。生コンの設備もある。

上に綱がはつてあるが破れている。中に何かと落ちてたう出られないだろう。

蒲井、四代岡の原発道路のトンネルは、7月31日までが工期だったが、10月末日までと書きかえられた。トンネルそのものは完成してきて、四代へ抜ける道を造るという。



いつも10月の原発デーの集会をする量津の埋立地はイベント広場として使用できるよう整備。

しかし、及原発の集会には必要はない。

中電の土地にでもしたのであるだろう。

● 10月7日、柳井中での「おしどりマコケン」さんの話は、すこぶよかった。200人の入りだった。

まこさんは、来年の参院選で立憲民主党から比例で立候補すると表明。活躍がたのしみだ。

すごい活動で、新聞記者がやっていないことをやる。とても多くのことを話したので、メモし切れなかったが、一部を紹介すると...

○ 3.11の後、原子が建屋地下に溜った汚染水に踏み込んでビバクし、救急車まで運ばれた人のその後について質問したら、東電は「お社の社員ではなく、下請企業の社員なので、知りません」と答える。

現場のゴミの雑なつくりの汚染水タンクがごんごんこわれて、そのタンクの底の掃除をする。高濃度でビバクする仕事をしている人とケイタイをつながっている、現場からの写真も入ってくる...

● 農家の人がいらは心配しているのは、汚染された土のおよび日々仕事をしなければいけない自分達の身体へのビバクのこと。線量管理のしくみを作りたい、と言っている業者者は、雇用している作業員のビバク線量を管理する義務があるが、農家の皆さんは、一人一人の事業主なので、放射線管理も自分で行って下さいと、東電は言った。

● 住み家は除染して少しは線量も下がったが、畑に行く山道は線量が高いのが被曝してしまいが...と向うと東電の答えは「自然ととも走って通して下さい、そしてついたらすぐ車をかんご下さい」というもの。農家の人は皆怒って途中で帰ってしまった...

などなど、19年3月23日の県民集会にお招きして下さるのび、是非聞きに来して下さい。



③

● 今朝(10/14)のNHKの番組は福島県の魚や肉を賣わないのは消費者が買わないと言わんばかりのことを言っていたが、おかしいと思う。

現実には汚染水は今も流れ出ているし、土壌も汚染されたまゝ。食品の放射線基準を60倍にも上げている世にそれを言わない。

● 3.11の時、たまたま免座標が過ぎたから、作業員が現場にとまると、水を入れたりだった。あの時菅さんのろいんで行った東電には事を続けさせなかったら、使用済燃料も蒸発し、オス原発の作業もできず、メルトダウンして東日本は壊滅しただろう。

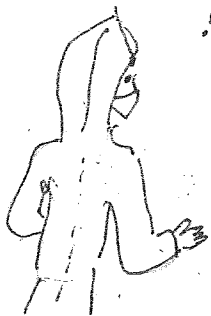
そうならば、西日本が東日本の人達を受け入れろいのではないだろうかと思ふ。私は本気にならぬ農業をはじめました。



●伊方原発は10月27日に四国電力が再稼働をはじめたが、10月26日の広島地裁の仮処分「決定」の結果によつては止まるかも...

伊方原発の事故を想定した避難計画が山口県でも行われた。

—あのビニールの防護服の映像を見るだけでもぞつとする。本当にいやだ。



●「宇部市民の会」では10月7日に会員の交流総会を行いました。山口・美祿・山陽小野田・宇部などから15人集まると、それまでのことを振り返り、これからどう進めようか、意見をかわした。メンバーは小泉講演でいっしょにバスで来た人がほとんど。

山口市に美澄博雅さんというお医者さんがおられ、3.11後、毎年福島に行き、同じ場所のよと持ち帰ると、それを感光紙に置いて放射線と測つておられます。そのお話を聞き、その画像を見せたいなと思いました。

「原発いっしょ」山口ネットワーク」でも、美澄さんの日程が合う時は、例会の時間を早めのお話を聞くことにしよう。

(次回11月11日は、美澄さんのご都合がつかないので、また次の予定とご一緒になりましょう)

●11月7日(土)8日(日)光市で「かんぱの宿」で、中国5県連絡会議の総会があります。

会の正式名称は「中国地方及原発反火電等住民運動市民運動連絡会議」と言います。

出席ご希望の方は、17日だけでもいいので小中さんまで連絡して下さい。

●「辺野古を埋めるな」という申し入れを、県内の市民10人・団体が名前を付けて首相に送るといふ申し入れに「原発いっしょ」山口ネットワークにも賛同しました。山口県の黒髪重也、向島の土砂も運ばれるので、山口県民の責任重大といふこと。

●「核爆二世」の会からのよびかけで、「アメリカの核実験に反対の声明」にも、「原発いっしょ」山口ネットワークとして賛同しました。

●福島県南相馬市で、避難している人が糖尿病になるケースが多いことから、大山弘一市議が資料請求。これに対し、南相馬市立総合病院事務課が、レセプトデータをまとめたものを提出。さまざまな病気が増えていることが明らかになった。

このデータは、早速「脱被ばく子裁判」の16回目の口頭弁論(10/16)に福島地裁に提出されることになりました。そのデータです。↓

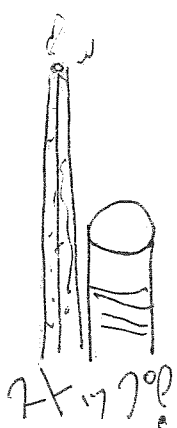
このデータはとても貴重なものですよ。なぜなら国は13年に「糖発症率の推定に關する法律」というのを作り、糖のデータを政府が一元的に管理し、そのデータをもちいた者には罰金100万円、禁固2年という重刑を課すことにしたからです。

3.11の前から、原発銀座と言われた福井県では糖尿病者が多いといふことが、死因のデータを集めてみると「心停止」が多いことがわかりました。医師会に圧力をかけて死亡原因を癌ではなく「心停止」と書くようにという指示が出されていたのです。

2013年になつて、それが罰則つきの法律にされたのです。ほとんどの国民が全く知らないうちに。

アメリカでは、原発の周辺200km圏内で乳癌が増えるといふデータがあります。それを日本の原発に当てはめると、北海道の東の端以外、日本列島のすべてが原発の200km圏内に入ってしまう。

●九州電力は、原発の電気がなくなったから、10月13日、太陽光発電の電気を断ると発表。9千何十ヶ所の太陽光発電の電気を拒否する。需給のバランスがくずれるとブラックアウトが起きるかも知れんと言っているけど、実にけしからん。止めるなら原発の方を止める！



■裁判のこと。

★ 11月14日、中間判決の予定だった埋立免許差止め、と自然の権利裁判が、2009年1月23日に日延べになりました。

- 埋立免許差止めの(山口地裁)
 - 2009年1月23日(水) 14時〜
 - 中間判決がござます。
- 自然の権利裁判(山口地裁)
 - 2009年1月23日(水) 14時30分〜
 - 中間判決がござます。
- 上関原発用地埋立禁止住民訴訟
 - 控訴審へ(広島高裁)
 - 日程は未定。
- 伊方原発再稼働差止めの・本訴(山口国)^(3回目)
 - 2009年1月25日(金) 午後2時〜
- 伊方原発再稼働差止め仮処分(高裁)
 - 判決がござます。
 - 2008年度内に。

● 10/26 伊方原発再稼働差止めの本訴2回目。

原告18名、傍聴希望者43名。計61名の参加。
 祝島からも10人来て下さりました。本土側はもとががんばろう！
 法廷では書類のやりとりのみ。説明会で、中関弁護士より、出された書面の説明があった。
 「火山にっして、原子力規制方が、社会的通念として、破局的噴火について考慮しなくてはならない」といっているのはおかしい。社会的通念は「原発を動かすな」ということだ」という書面を提出した。

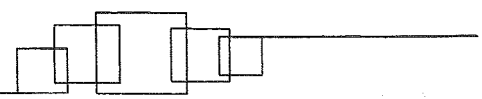
● 傍聴者からは、

「裁判官に、現在の状況で原発を動かすことは、日本がまずく、世界の自然エネルギーへの流れから取り残され、経済的にも大きく遅れることにあるという観点を持った判決を出すよう訴えた方がいいのでは」

「四國電力の火力発電所はすべて海岸部にあり、地震と津波で外部電源はいつにも失われる恐れがある」という観点を裁判官にわかってもらう方がいい」
 などの意見が出た。

控訴理由書1が12P, 控訴理由書2が31P. 2.の結論部分2頁。

知事の控訴理由について



弁護士 内山新吾

知事側は、9月11日付で「控訴理由書1」「控訴理由書2」を提出してきた。この内容についての弁護団での検討は、これからなので、ここでは、簡単に私の個人的な感想・印象を述べる。

第1に、控訴理由からは、知事の裁量権逸脱違法を認定した地裁判決は、知事側にとっては想定外で強い衝撃を受けたことがうかがえる。控訴理由書は、判決は「被告の防御権を著しく侵害する不意打ち的な判決」だと繰り返している。そして、特に、判決が、中電に対する補足説明事項に、「政府のエネルギー政策における上関原発の位置付け」等、本来的に客観的な当否の判断にしまない事項が繰り返含まれていた、と指摘している点、また、判断留保の時点で、延長にかかる期間の終期までに埋立てが竣工する可能性がなかった、と指摘している点に、強く反発をし、判決は「全くの独断」であると非難している。そうして、申請者である中電が判断留保に異議を唱えていないのだから、裁量権逸脱にはならない、などという主張を展開している。敗訴判決を受けて、知事側の本音があらわになったという印象がある。

第2に、知事側の控訴理由は、かなり観念的で難解である。弁護士の私が読んでも、なかなか理解できない。「短くまとめると、どうなるの?」「中学生でもわかる説明をしてよ」と言いたくなる。わかりにくいということは、弱さの表れである。

第3に、そうは言っても、知事側は必死である。地裁判決をひっくり返すために、相当のエネルギーを使っている。それは伝わってくる。今後、弁護団で控訴理由書をていねいに検討して、その理屈の弱点と事実の見方の誤りをていねいに指摘していきたい。

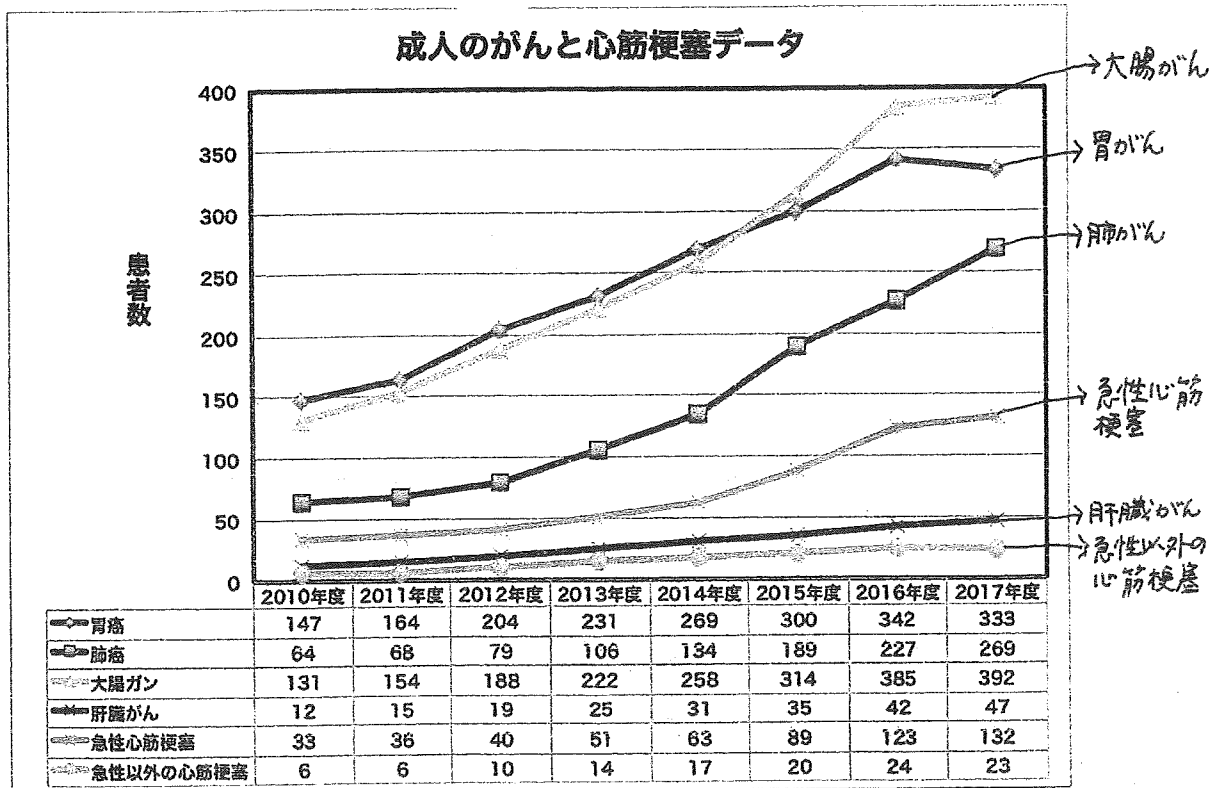
9 結論

原審は、裁量権統制にいかなる手法を取るにせよ、裁判所が通常行っている対象となる行政活動の根拠法規の目的・要件の整理をすることなく、また、当事者に主張立証を促すこともなく、独自の裏付けのない判断で(いかなる行為へのものかも判然としないが)、裁量権の逸脱と安直に判断したもので、速やかに破棄されるべきである。

以上

※ 原審とは控訴審に対する言葉で、山口地裁での審議のことを言っているのだと思います。(M) ^{第一審の}

← 上関原発用地埋立禁止住民訴訟の会ニース(小作大作社発行)にのった内山新吾弁護士の感想です。

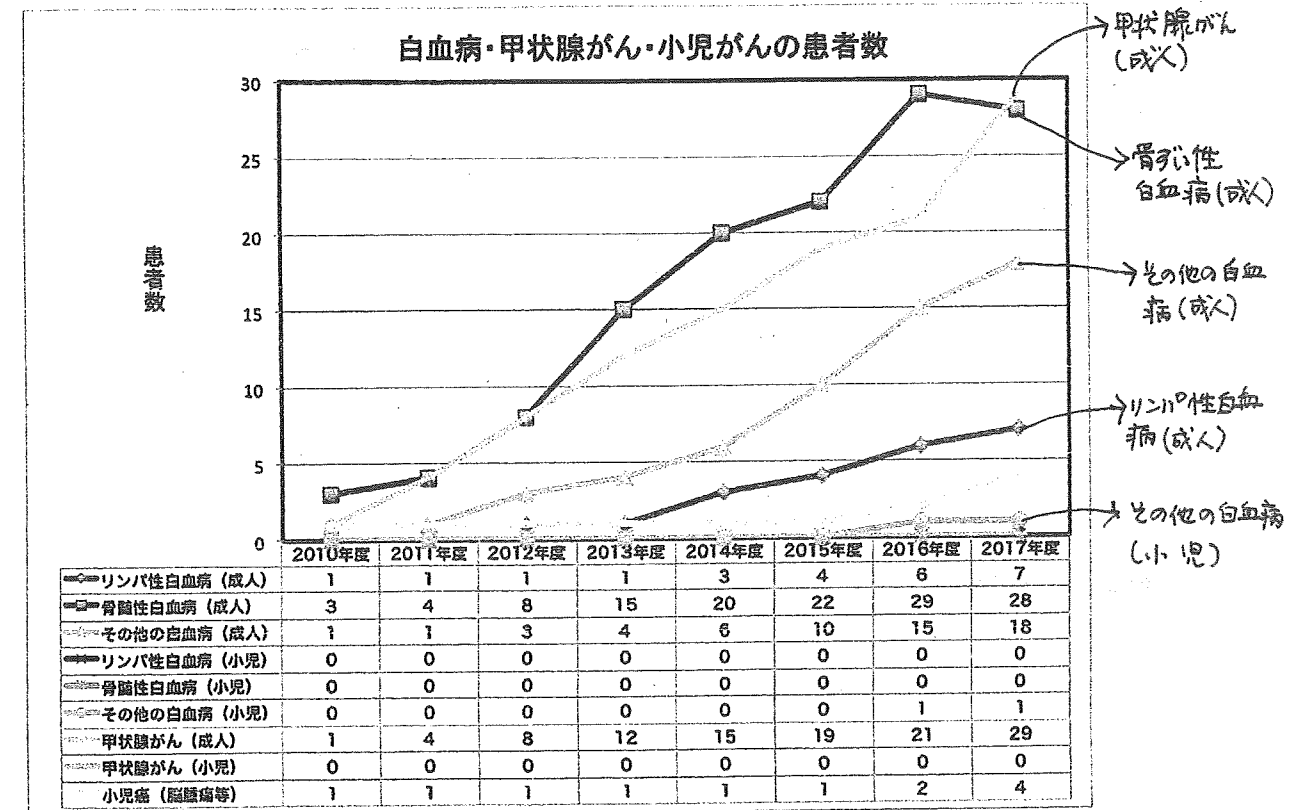


(図2：南相馬市立総合病院事務課作成の表をもとにOurPlanetTVがグラフを作成。)

井戸謙一弁護士は「この裁判の最大の争点は、今の福島の被曝環境が子供の健康にリスクがあるのかないのか。しかし、国や福島県が健康調査を怠っているため、県民健康調査の甲状腺検査の結果以外には、事実が出てこず、大変もどかしい思いをしていた。」とした上で、「ようやく事実の一端を示すデータが出てきた。これを裁判に提出して問題提起をしたい。」と意義を語る。今後、南相馬市以外の市町内の総合病院の患者数の推移も調査して、明らかにするよう求める方針だ。

福島県在住の小・中学生らが、年間1ミリシーベルトを下回る地域での教育を求めて、福島県や福島市などの市町村を訴えている裁判（通称、子ども脱被曝裁判）で、原告側弁護団が被曝影響を示す証拠として、南相馬市立総合病院の患者数データを提出することがわかった。16日に開かれる第16回目の口頭弁論で福島地裁に提出する。

提出するのは、南相馬市立総合病院の事務課が作成し、同市議会議員の大山弘一議員に提供したがんや生活習慣病の患者数推移。被曝影響との関係が強いとされる甲状腺がんは、2010年には1人だったが2017年には29人に増加。また骨髄性白血病は、2010年の3人から、2017年には28人へと増加している。(図1)



(図1：南相馬市立総合病院事務課作成の表をもとにOurPlanetTVがグラフを作成)

福島では避難指示が解除された地域から住民の帰還が進んでいる。日本政府は被ばく線量が年間20ミリシーベルト以下を解除要件の一つとしているが、トゥンジャク氏は事故前に安全とされていた年間一ミリシーベルト以下が適切だとの見方を示した。

声明は、日本政府には「子どもの被ばくを防ぎ、最小限にする義務がある」と強調した。

また、原発事故の避難者にとって、住宅無償提供の打ち切りなどが「帰還への多大な圧力になっている」と指摘した。

トゥンジャク氏ら人権理の専門家三人は八月、原発事故の除染作業員ら数万人が被ばくの危険にさらされているとして、緊急対策を求める声明を発表。日本政府は一方的な情報に基づくとして「緊急対応が必要とは考えていない」と反論した

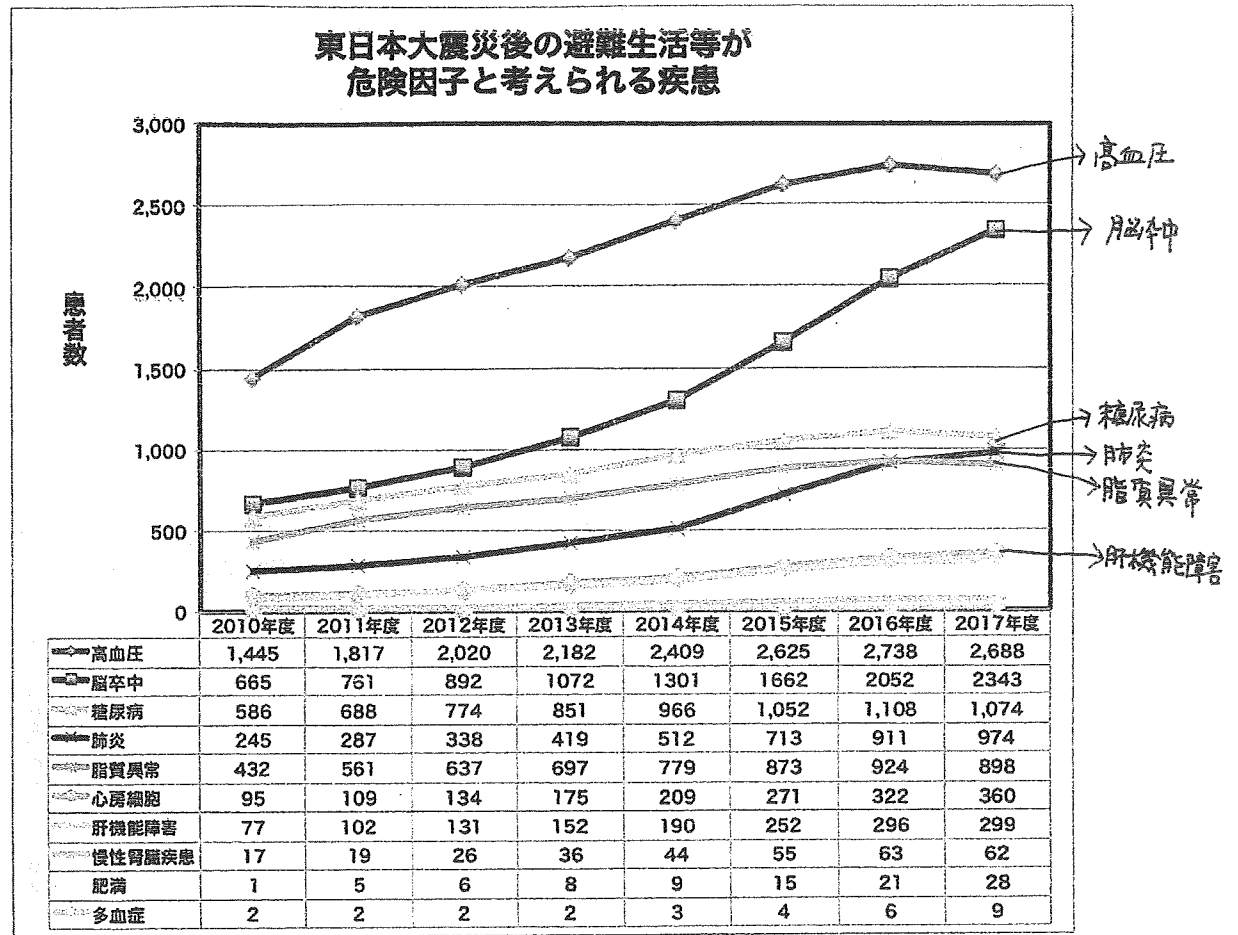
東京新聞:
【国際】

子ども帰還見合わせ要請 国連報告者「年間1ミリシーベルト以下に」

2018年10月26日 朝刊

【ジュネーブ=共同】国連人権理事会で有害物質の管理・処分などを担当するトゥンジャク特別報告者は二十五日、東京電力福島第一原発事故で避難した子どもや出産年齢の女性について、事故前に安全とされた被ばく線量を上回る地域への帰還を見合わせるよう、日本政府に要請する声明を発表した。

在ジュネーブ国際機関日本政府代表部の担当者は声明に対し「非常に一方的な情報に基づいており遺憾だ。風評被害にもつながりかねない」と批判した。



(図3：南相馬市立総合病院事務課作成の表をもとにOurPlanetTVがグラフを作成)

同データは、南相馬市議会議員の大山弘一議員の資料請求に基づき、南相馬市立総合病院事務課が、レセプトデータをもとにまとめたもの。大山議員は、同病院血液内科で週1回診察を行っている福島医大の坪倉正治医師が、避難生活で糖尿病が増加しているとする論文を発表していることを受け、9月の市議会の一般質問で、市立病院の他の疾病動向について質問していた。

公害訴訟などで因果関係を立証する意見書を多数提出してきた環境疫学が専門の岡山大学の津田教授は、「有病数だとしても、大きな増加だと思う。疾患が増えなければ有病数は変化しない。従ってこのデータは、年々、新規の患者が増えていることを意味し、被曝による健康影響が否定できないことを示している。ただ病気によっては、死亡したり、設備の整った病院に転院することで、人数が変化するため、新規の発生数を詳細に把握することが望ましい。今後、さらなるデータが公開されることを期待したい」とする。

1/2, 10, 10, 中口

CT影響個人差実証

広島大 染色体異常比較

低線量被曝



田代聡教授

コンピューター断層撮影

(CT)などで浴びる弱い放射線の人体への影響には個人差があることが、広島大原爆放射線医学研究所(広島市南区)の田代聡教授(放射線生物学)たちの研究で分かった。患者の細胞をCT検査の前後で比べ、染色体異常の増え方が人によって異なることから突き止めた。(32面に関連)

記事) 低線量の被曝による染色体異常の増加を示唆する研究は既にあったが、個人差まで実証したのは初めて。

研究班は、広島大病院(南区)の30〜80代の患者60人の協力を得て、CT検査の前後に血液を採取。短時間で染色体異常を判別できる独自開発の手法を用い、患者1人につき千個以上の末梢血リンパ球を調べた。細胞千個当たりの染色体異常をみると、検査前後で平均5・6個から7・2個に増

え、増加率には有意な個人差があった。

染色体異常の増加について田代教授は、「すぐにがんや白血病になるわけではないが、被曝への耐性が弱い人はCT検査の頻度を低くした方がよい」と指摘。「研究手法を応用し、誰もが放射線への感受性の強弱を事前に調べられる仕組みができれば、個人の特性に応じた医療が可能になる」と話している。

また研究班は、健康な人のリンパ球に強さの異なる放射線を当てる実験を通じ

て、被曝線量と染色体異常の関係についても調べた。CT検査の線量は1回10ミリシーベルト。実験では80ミリ以下だと、線量に比例して染色体異常の数が直線的に増える群と、横ばいの群に分かれた。

100ミリ以下の低線量被曝を巡り、これまで放射線影響研究所(南区)などは、広島と長崎の原爆被爆者の追跡調査に基づき「被曝線量とがん発症の比例関係ははっきりしない」としてきた。田代教授は「放射線に強い人と弱い人を分けて解析してきたことが、100ミリ以下の発がんリスクが明確でなかった原因ではないか」とみる。

研究結果は、米科学誌「サイエンス」に発表された。(馬場洋太)

イージス・アショアについて

イージスの核心部分がSPY-1レーダー。フェースト・アレイ・タイプ7のレーダーは電波の発振装置が4350個のアンテナ素子が並び、発振している。SPY-1レーダーは強力な電磁波を放射して最大500kmもの範囲を探知する。放射される電磁波は強力で、人体に影響をおよぼす。500km範囲と言えは大阪以西から約200kmの範囲である。これは、伊賀市、葛市だけの問題ではないと思う。

余る電力再生エネ岐路

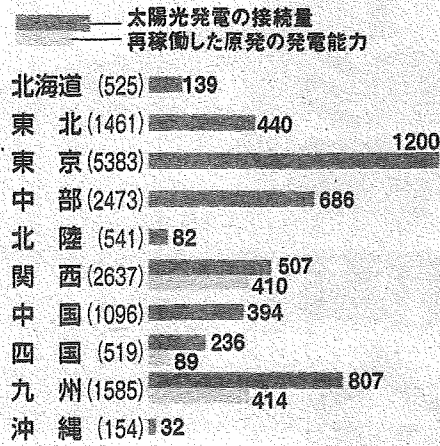
太陽光発電 九電が抑制

再生可能エネルギーの主力の一つの太陽光発電が、九州では13日にあふれそうになった。大停電回避のために、発電事業者とつながる送電線を九州電力が一部切り離して発電量を抑えた。離島を除き国内初で、14日も行う予定。原発4基の再稼働も背景にある。他地域でも起りそうと、知恵を絞る時期にきている。

再稼働の原発優先

朝から右肩上がりで伸びるグラフが急に横ばいになった。午前11時半。九電が小さな一般家庭を除く、約

九州は太陽光が多く、原発も再稼働
数字は万kW。カッコ内は各電力管内の昨年度のピーク時の電力需要。太陽光発電の接続量は、中部は昨年度末時点、それ以外は今年8月末時点。東京はホールディングス(HD)。



2万4千件の事業者のうちの9759件を遠隔操作で送電網から切り離した。作業は午後4時までの間に行われた。午後0時半からの30分間に最も電力が余り、需要の851万キロワットに対し、1200万キロワット超の供給力があつた。九電によると3分の1が原発という。九電は火力の出力を絞ったり、公的機関の調整で別の大手電力管内へ送電をしたりした。それでも電力が余り、最大で43万キロワットを抑制。一方、原発4基は通常運転を続けた。「原発は動かすのに、再生エネを抑えるのは順序が

逆だ」。約40カ所の太陽光発電所を運営する芝浦グループホールディングス(北九州市)の新地洋和社長は話す。「抑制回数が見通せず、事業計画が立てづら」という事業者もいる。電力は発電量と使用量のバランスが崩れると周波数が乱れ、大規模停電につながりかねない。出力抑制は国に認められている。九電は2011年の東京電力福島第一原発事故後、再稼働を目指した全原発がこの夏までに運転を始め、このルールでは原発の発電を優先する。出力調整が難しいことが理由。世耕弘成経済産業相は「原発はベースロード電源の一つ」と強調する。九州でも再生エネの出力抑制は行われているが、ドイツやフランスでは需要に応じて原発で出力調整をした実績もある。そもそも燃

欧州では融通進む

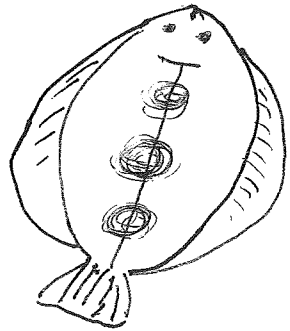
九州と本州側をつなぐ「関門連絡線」でより多くの電力を本州側へ流せば余る電力をいかにせようか。

料費がゼロで市場価格が安い再生エネが使われやすくなっているのが一般的だ。国は30年度の電源構成に占める原発比率を20〜22%、再生エネも22〜24%とし、「主力電源化」を目指

す。電力システムに詳しい都留文科大の高橋洋教授は、「時代遅れの概念で、旧来型の優先順位を維持するのは日本独特だ。日本が政策でどこまで再生エネを本気でやるかが問われる」

再生エネの導入が進む欧州では、国境を越えて電力の融通が進む。一方、日本の大手電力は原則、自社管内での需給調整を前提にしてきた。自然エネルギー財団の大林ミカ事業局長は「日本全体でやりとりする発想に立つべきだ」と指摘する。優先的に扱われる原発は需要の少ない夜中も一定レベルで動く。夜間電力を安

くして給湯器などに活用してもらってきた。「いかに太陽光を使うか。九州から発信してほしい」と語る業界関係者もいる。みずほ情報総研の蓮見知弘チーフコンサルタントは「電力の安定供給と、再生エネの導入拡大のバランスをどう取るか。再生エネを主力電源にしていくための過渡期に入った」とみる。(山下裕志)



10/21上関町で原発推進派の講演会。まるで福島事故のことなど忘れたかのよう...

18, 10, 22 中口

原発推進派が上関で講演会

「島国では価値」

原発の必要性を考え、講演会が21日、上関町の町総合文化センターであった。同町での

中国電力上関原発建設計画に賛成する「上関町青年連絡協議会」の主催で約170人が参加した。

点を例示。化石燃料を輸入に頼る現状も指摘し「日本のような島国では原発は価値がある」と述べた。

東嶋さんは旧ソ連子エルノブイリ原発事故で放射能汚染したベラルーシも取材。線量計で実際の放射線を測ることで「目に見えれば怖さも軽減する。リスクに正當に向き合うのが大事」と強調した。

みなさまへ

大型台風24号が荒れ狂った翌 9月30日、沖縄県知事選挙は、政府側を8万票も超える39万票も獲得した玉城デニーさんの大勝利でした。現場からの声を10月3日、映画監督・三上智恵さんの「アガジ」9。「三上智恵の沖縄撮影日記・勝ったのは沖縄の真心の美しさ〜デニー知事誕生」から一部を抜粋して紹介します。



「うちなーんちゅ、うしえーていないびらんぞー」沖縄県民を舐めるな。見くびるな。子や孫のために命がけでこの島を守りましょう。今も聞こえる翁長知事の声が、沖縄県民の心をちやんとつかんでいた。今回すさまじかった企業や宗教団体の動員を目の当たりにして、これは勝ち目がないという声があちこちで上がっていた。しかし、所属している社会のしがらみが手足を絡めとろうとも、心までは渡さなかった。この間の日本政府の手法に対し、明らかに拒否感を持った県民が増殖したということだ。

大勝利だ。とはいえ、デニー知事の行く手は険しい。沖縄県は法に則って仲井真元知事の埋め立て承認を撤回したが、政府は県を許さないだろう。また裁判で県の撤回を無効化する手段に出て、工事の再開を目標むだろう。それこそ三権分立をないがしろにして行政と司法が結託し、さらには立法機関までも歩調を合わせかねない危懼的な状況が迫っている。

でも、踏みつければ踏みつける程に強くなっていく民草。「弾圧は抵抗を呼ぶ。抵抗は友を呼ぶ」といった瀬長亀次郎さんの言葉通り、沖縄を丸ごと屈服させることが可能であるかのような幻想を持っている政治家は、いつか必ず自分の見識の浅さを恥じる日が来るだろう。

そして、また強い味方が現れた。翁長さん亡き後、今度は10年も国会議員として政治家の手腕を磨いてきた玉城デニー知事が、政府に強かに沖縄の声を届けてくれるだろう。おじい、おばあたちの苦勞も、へりや部品が落ちてくる空におびえる子どもたちの不安も、それを守れない大人たちの悔しさも。

沖縄本島中部で育った「母子家庭でハーブ」の心優しい少年が、ロックを愛し、ラジオの顔になり、市場のおばちゃんたちのアイトルになって、沖縄の伝統芸能に親しみ、国会議員になっても「デニー1」と呼ばれ、街頭演説でも街宣車の上に登らなかつた。全国の知事の平均像からすればかなり毛色の変わった知事が誕生した。しかし、たぶん政府はまだその意味を過小評価しているだろう。翁長さんの後継者ならだれでも当選できたという選挙ではなかつた。これだけ踏みつけられた人々だからこそ推す人間、沖縄からしか出てこない逸材。それが玉城デニーという知事なのだと思う。

玉城さんの当選を奇跡のように考えた私。なぜなら、ムサシのことを心配していたからです。知っている方もいらつしやるでしょうけど、私は孫崎享さんのお話から、不正選挙があることを確信しています。孫崎さんは、2014年の都知事選で舛添さんが当選したとき、各選挙区ごとの得票率が前回の猪瀬さんの48%の得票率になっていることを発見。そんなことは自然では絶対に起りえないことだ、というのです。去年、鶴ヶ島市の選挙管理委員会との話し合いに参加し、投票は「鉛筆」で書くことになっていることがわかりました。なぜ、ボールペンじゃダメ？ そこには一つのカラクリがあります。詳しいことはいずれ紹介しますが、とにかく、不正選挙の手法は、実にいろいろとあるのです。

いま言えることは、投票用紙には備え付けの鉛筆ではなく、ボールペンを持つていってそれで書くことと、周りの人に勧めて、投票率をど〜んと上げることが、不正選挙を防止する1つの方法だといわれています。皆さんはどのように考えますか？ では、秋もどうぞお元気で。

2018年10月8日

PKO法「雑則」を広める会 (小田)

生きて生きる

上関からの報告

瀬戸内海に浮かぶ上関の食事を囲んだ。赤土関原発建設予定地...

第一部・移住者たち①

移住後に授かった。東京出身の岡本さん(37)の二組の家族が1カ月前に生まれ...

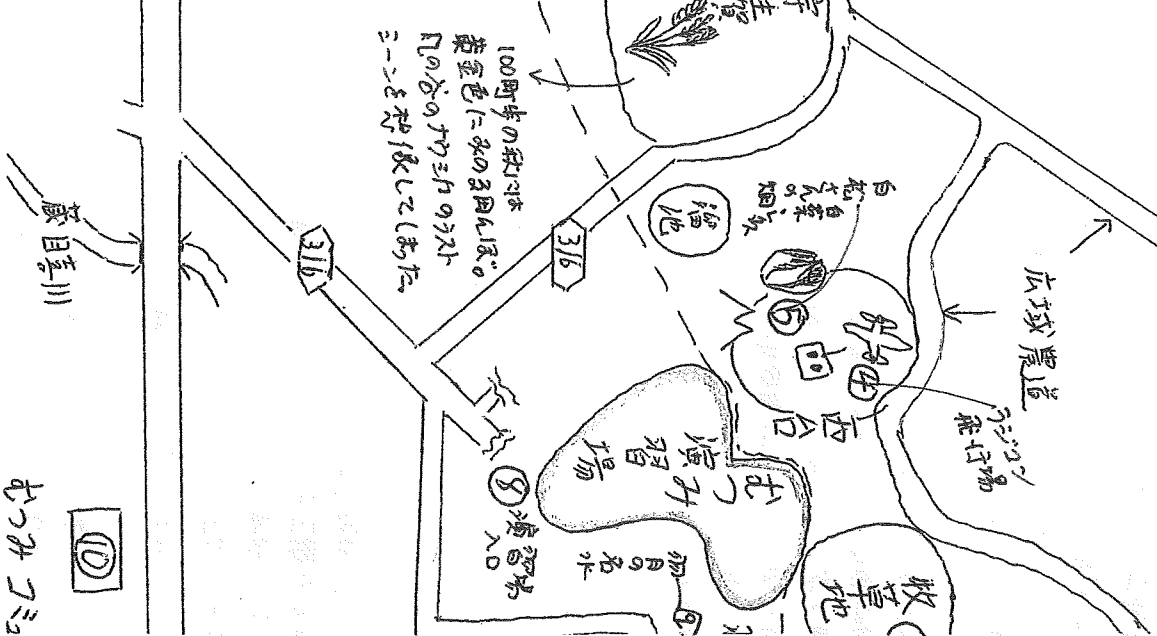
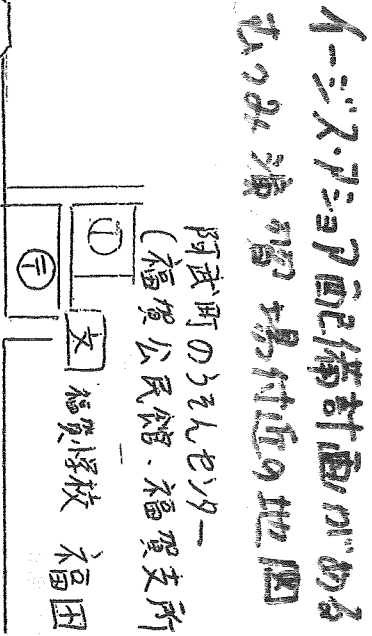
支え合い子供育て

1982年に上関原発が誕生した。豊田町民の間で「もう見えてきた。町民の間で...



生まれたばかりの赤ちゃんを囲んで笑顔に包まれる

は中断した。身をこめて過ごす時間が長くなる。反対してきた島民に...



わっぴみコミ (森村役所)

豊田の清流に取らぬ水も味あが活き活きと生きている美しいふるさとに

四国電力伊方原発3号機出力を調整できる火(伊方町)の再稼働を翌月末...

伊方3号再稼働中止・廃炉を



香川の市民団体「四電に要請書

伊方原発3号機再稼働中止を求めてデモ行進する参加者(18日夜、高松市内)